

2020年

合同教育研究全道集会

***** オンライン開催 *****

平和を守り真実をつらぬく民主教育の確立をめざして



[日時] 11月7日(土) ・ 8日(日)

[会場] オンライン開催

[参加方法] オンライン開催のため、事前の申込が必要です

11月7日(土) 全体会

12:20~14:30 開会・全体講演 講師:鈴木大裕さん(土佐町町議会議員)

14:40~16:40 緊急討論

~新型コロナウイルス感染症と子どもたちへの影響について~

11月8日(日) 分科会(オンラインで一部開催)

レポートの集約状況等により、後日、開催する分科会を決定します。



講師:鈴木大裕さん

お申し込みはこちらのフォームからお願いします



全道合研 2020
参加登録 QR

お問い合わせ
合研事務局

TEL 011-231-0816 (北海道高教組)

URL <http://goken-hokkaido.jp/wp/>

MAIL kokyoso@dokokyoso.jp



2020年全道合研について

2020年全道合研は、新型コロナウイルスの感染拡大により会場の確保が難しく、オンライン開催とします。一時は合研の中止・延期も危ぶまれましたが、コロナが子どもたちにもたらした影響を記録し、コロナ後の教育を展望することが重要だと考え、オンラインでの開催を決定しました。オンライン開催は、遠方から参加しやすくなるなどのメリットもありますが、やはり、教育の議論は対面であるのが一番です。いつか皆さんと集まれる日が来ることを期待しつつ、今年はオンラインでつながり、歩みを止めることなく、コロナ後の教育を展望する合研にしたいと思います。皆さんの参加を呼びかけます。

全体講演

今、子どもたちは、コロナの影響で窮屈な学校生活を送るなど、さまざまな影響を与えていますが、コロナ後にはどのような教育が展望できるでしょうか？鈴木大裕さんの講演とWeb上のパネラーとともに考えましょう。

鈴木大裕(土佐町町議会議員)

土佐町町議会議員・教育研究者・土佐町議会議員。1973年神奈川県生まれ。16歳で米ニューハンプシャー州の全寮制高校に留学。2002～2008年千葉市の公立中学校に英語教諭として勤務。2016年からは人口4000人弱の高知県土佐郡土佐町に家族で移住。2019年4月、土佐町議会議員に初出馬し、トップ当選。教育を通じた町おこしに取り組みつつ、月刊『教育』、『クレスコ』での連載や『論座』を通して広く発信しています。



緊急討論 新型コロナウイルス感染症と子どもたちへの影響について

①子どもたちのためのコロナ禍の学校づくり

「一斉休校」で、私たちは学校という社会基盤の意味を改めて考えました。一方で学校再開以降は、授業時数確保やソーシャルディスタンスへの対応が迫られています。コロナ禍の中で、子どもたちが生き生きと学べる学校づくりや授業づくりについて考えましょう。

助言者 鈴木大裕さん

②コロナ禍で浮き上がる若者のいまとこれから

～就学・就労をめぐる課題とあるべき姿を考える～

突然の休校で学費・生活費が途絶える学生。自宅待機、ボーナスカット、内定取り消し、勤務日激減による収入減などにあえぐ若年労働者。コロナ禍で浮き上がった課題と対策を考えます。

パネラー

岩崎 唯さん (さっぽろ青年ユニオン執行委員長) 他

③ コロナ禍で地域・家庭・学校で子どもたちを支える

コロナ禍による長期休校、その後の学校再開、子どもたちはどのように過ごしているのでしょうか。家庭、保育園、学童保育、学校などで子どもたちの成長・発達を支えとりくみを学びます。

パネラー 保育士 学童保育指導員 保護者

④安全・安心の学校をめざして

新型コロナウイルス感染症防止のためには、20人学級を実現し社会的距離を確保することが急がれます。身体接触を欠くことができない特別支援学校では、より深刻な課題もあります。コロナの影響が長期化する中、学校の安全対策と必要な教育条件整備について議論します。

パネラー 高校養護教諭 小中学校教諭

全道・全国の保護者

レポート募集

コロナ禍のもと、学校では緊急の対応が求められています。子ども・若者が直面している課題も多岐にわたっています。子どもの実態やそこから始まる教育実践など、今しか書けないことを記録に残しませんか？分科会はレポートの提出状況を見て、ZOOM開催可能な分科会を検討します。開催の有無についてはレポート後に後日連絡します。昨年のリーフをHPに掲載していますので、参考にしてください。

提出期限は10月14日(金)必着 事務局までメール等で送付して下さい。